

江成直士

えなり
なおし

子どもに笑顔 市民に安心 市政に直言 市議会だより

相模原市議会 市民連合 議会報告資料 2015 (H27) 年 3 月 ・ 発行
◇発行連絡所＝相模原市中央区田名 3 1 5 8 - 5 ◇電話・FAX＝0 4 2 (7 6 2) 0 6 6 6

3 月定例会、27年度予算案、子どもの権利条例、落書き防止条例などを審議

3 月定例会（議会開催が通年制になり、正式名称は「平成 27 年相模原市議会第 1 回定例会 3 月定例会議」です）が、2 月 18 日から開かれ、27 年度当初予算案をはじめ、子どもの権利条例案、落書き防止条例案など 40 議案が上程され、2 月 26、27 日の代表質問を皮切りに、各常任委員会の質疑が行われました。3 月定例会は 17～19 日の一般質問の後、20 日に討論・採決が行われ、同日に閉会される予定です。



（議場の江成議員）

江成議員は、これまでに一般質問の機会と代表質問の分担を終了し、今議会では、文教常任委員会での審査が主要な役割で、学校教育予算や生涯学習予算について、教育委員会の施策や今後の取組を質しました。代表質問の内容は、予算案、条例案などを会派で検討して決めました。登壇質問は金子議員が担当し、市政諸課題について、きめ細かく、鋭く質しました。

◇ 3 月定例会の主な案件

◎27年度予算案＝4 7 0 6 億円（一般会計・2555 億円、特別会計・1876 億円、公営企業・275 億円）

4 月に市長選・市議選を控えるため、例年必要としている施策の予算（骨格予算）が提案されました。一般会計は、昨年当初比 8.％減の 2 5 5 5 億円となり、今後の補正予算で若干の肉付けが行われる予定ですが、4 年前の例から、新たな施策予算は限定的になりそうです。

◎医療費助成条例が改正され、通院医療費の助成対象者が、現行の小学校 3 年生までから 6 年生までに拡大されました。

◎公契約条例が改正され、条例の対象になる契約の範囲と従事労働者の賃金下限額が拡充されるとともに継続雇用への配慮が規定され、労働者保護が前進しました。江成議員などの主張により、条例対象・内容の拡充・労働者保護などの課題が実現したものとと言えます。

◎この他、産業集積促進条例、職員定数条例、療育センター条例が改正されました。また、介護保険法改正に伴う新規条例、約 11 億円の一般会計補正予算が議決されました。

— 12 月議会 江成議員の代表質問（要旨） 紙面の都合で大幅に省略しました —

1. 職員定数条例改正について

〈問〉 生活保護受給者が増加する中、職員の定数・事務窓口の環境は？

プライバシー保護や執務環境に配慮する。

〈答〉 職員 5 名を増員した。事務室増床など

〈問〉 公共の役割として、ゴミ収集や保育所に対する考え方は？

〈答〉 ゴミ収集は50%の民間委託が目標だ。公立保育園の役割あり方も検討していく。

〈問〉 教職員給与・定数の権限移譲への対応

2. 公契約条例改正について

〈問〉 条例改正の考え方や効果は？

〈答〉 公契約条例により、労働意欲や事業の質の向上、地域経済の活性化等の効果が生じ

3. 医療費助成条例改正について

〈問〉 助成対象年齢の拡大に必要な財源は？

〈答〉 来年度1万4千人約4億円増加する。

〈問〉 子育て環境の充実として評価するが子

4. 療育センター条例改正について

〈問〉 知的障害者生活介護の事業が社会福祉事業団に移されが、その概要と効果は？

〈答〉 新たな事業所は4月から開所され、従来の支援事業の他、送迎等新規支援も行う。

5. 産業集積促進条例改正について

〈問〉 奨励措置による本市への効果、新たな奨励措置の予算・件数の見通しは？

〈答〉 工場の新・増設など109件を認定、総投資額約1365億円で雇用は4千名。奨励金総額は約83億円で、平成30年度から税収増累計額が上回る。改正後5年間の認定件数約

6. 工事請負契約について

〈問〉 失格基準価格方式により7千万円の差額が生じたが、評価は？

〈答〉 ダンプ防止のため失格基準価を設けたが、参加業者数が少なく、平均価格が高くなり失格者が生じた。

7. 27年度予算編成方針について

〈問〉 消費税10%の1年半先延ばしによる本市の財政・施策への影響・対策は？

〈答〉 歳入では、地方消費税減の一方、自動車取得税が継続し影響は少ない。歳出では、市の物品購入や工事請負等の消費税増額がない。今後、社会保障制度改革など国の動向を注視し、適切に対応する。

8. 市役所周辺駐車場有料化について

〈問〉 有料化後の市民の声やニーズをしっかりと捉え問題点を検証し、必要な見直し・改善を行う考えは？

9. 学校と教職員の多忙化対策につい

スケジュールと考え方は？

〈答〉 給与等勤務条件や学級基準の決定など課題が多い。準備班設置により着実に行う。

た。他自治体の関心も高い。改正により工事請負の5割、対象業務委託の9割が条例適用となり、さらなる効果が期待できる。

どもの貧困・格差等に取り組む考えは？

〈答〉 子ども・子育て支援事業計画の策定を進め、総合的な子ども施策に取り組んでいく。

〈問〉 陽光園の再整備や将来の在り方は？

〈答〉 初期療育と相談事業を市が行い、継続通所支援は民設民営の福祉型支援センターに委ねて、陽光園の再整備も検討する。

60件、奨励金は約70億円を見込む。

〈問〉 新たな立地・雇用奨励措置の狙いは？

〈答〉 より戦略的に企業誘致を進め、産業基盤強化、持続可能な都市経営を図る。また人材確保のため、正規雇用の創出と定着、女性の社会進出を促したい。

〈問〉 新戸-相武台道路工事で、米軍に支払った負担金と用途の妥当性は？

〈答〉 国・米軍・本市の道路改修工事現地協定で技術・施工監理の負担額が決まった。26年度まで約6千万円支払った。

〈問〉 27年度財源不足の原因、対応策、中期実施計画の推進は？

〈答〉 27年度は、子ども・子育て支援新制度や扶助費増、拠点整備事業等があり、歳出が27億円上回る状況だ。事業優先順位見直し、民間活用、新たな歳入確保等、創意工夫し、中期実施計画を推進する。

〈答〉 駐車場有料化開始後、入庫待ち渋滞は減少し一定の効果があった。市民の意見等を活用し、課題の検証・改善に手取り組む。

〈問〉 きめ細かな教育を進めるため、学校と教職員の多忙化を解消する必要がある。多忙化状況の主な要因と解消方策は？

〈答〉 教職員は、日々の教育活動、授業の準備や個別指導、成績処理等、事務処理も多い。要個別配慮児の増加、学校要望の多様化、保護者相談の深刻化等も多忙化の要因。学校の工夫に加え、教育委員会も事務処理効率化や

人的配置等、支援をしていく。

〈問〉 多忙化解消の目標を人的配置などに重点化して、支援施策を集中投入する考えは？

〈答〉 多忙化解消には、人的支援が重要だ。児童支援専任教諭、支援教育支援員、観察実験アシスタントの配置、地域人材ボランティアの活用、事務処理軽減のシステムの導入等を推進していく。

江成直士 ～ 2期目の主な議会質問

◆ 11年5月 臨時会（2期目の初議会）

3.11 東日本大震災による本市の図書館被災の復旧、児童生徒の安全、下校・帰宅対策、情報伝達・「ひばり放送」の改善、被災地・避難者支援、原発事故対策、地域防災計画の見直しなどを提起しました。

◆ 11年6月 定例会（一般質問）

市民協働・NPO活動の支援、地震防災と児童生徒の安全対策、新学習指導要領による授業時間増や中学校「武道」必修化、学校多忙化対策を質しました。

◆ 11年9月 定例会（代表質問）

22年度決算で、政令市移行後の市債増加などを質し、財政の健全化を求めると共に、厚木基地爆音被害に対する市の積極的取組や子どもの権利条例の早期制定を訴えました。談合事案による損害賠償の訴えについては、法的な問題と談合防止対策を質しました。

◆ 11年12月 定例会（一般質問）

防災計画の見直しや災害時の行政機能確保・業務継続計画の整備などを提起、老朽ブロック塀対策補助制度の実現に寄与しました。また冒険遊び場(プレイパーク)の整備、公契約条例の推進、教育委員会の独立性と権限、教育行政専門職員の配置などを求めました。

◆ 12年6月 定例会（代表質問）

指定NPOへの寄付金制度の活用と市民活動の育成・支援、厚木基地航空機騒音問題の解決を訴えました。通学路の安全対策を質し、夢の丘小学校歩道橋設置、安全指導員の配置が実現しました。また、薬の適正使用教育の

推進、自治基本条例、子どもの権利条例の制定を求めました。

◆ 12年9月 定例会（一般質問）

区政・区民会議の活性化の課題を提起、通学路交通安全対策の充実、公文書館の設置を求めました。不登校児童生徒の進路保障など、不登校問題への対応策を提起しました。

◆ 12年12月 定例会（一般質問）

障がい者就労支援、雇用促進、教育予算の充実、中学校部活動について問題提起しました。

◆ 13年6月 定例会（代表質問）

指定NPO条例、動物愛護条例、市内経済・産業の活性化、国による職員給与削減問題、教職員のメンタルヘルス対策を質しました。

◆ 12年9月 定例会（一般質問）

教職員の給与負担、学級編制・定数決定権の移管、多文化共生、外国人市民への災害時支援、外国につながる児童生徒の教育保障、普通教室へのエアコン整備を提起しました。

◆ 13年12月 定例会（一般質問）

子どもの権利条例について、オンブズパーソン(権利救済委員)の設置、子どもの参加・意見表明権を求め、いじめ問題など子どもの人権対応も質し、同条例の制定に取り組ました。本は学力テストの結果の公表について、教育的観点に立った慎重対処を求めました。また、若者を使いつぶすブラック企業の問題を初めて取り上げ、行政対応の強化を求めました。

◆ 14年3月 定例会（代表質問）

市政の課題として①国及び市の経済状況、②広域交流拠点、③教職員の給与費負担、定数

配置等決定権の移譲、④、新教育委員会制度、⑤小田急多摩線の延伸、⑥大規模盛り土造成地の変動予測調査、⑦DV相談・防止対策、⑧市税の収納対策、⑨各種証明書のコンビニ交付、⑩脱原発社会の推進、⑪臨時財政対策債・財政調整基金など財政課題、⑬国の地方財政対策、⑭基地問題、⑮少子高齢化・人口減社会、⑯消費税増税と社会保障を取り上げ、また条例の制定・改正に関しては、市美術館



「教育を語る会」で現場の皆さんと意見交流しました
整備、いじめ問題への対応、防災対策、上溝

学校給食センターの運営などを質しました。

◆ 14年6月 定例会（一般質問）

難病患者・小児特定疾患患者支援、学校技能員の位置づけと正規採用、教職員給与負担・学級定数決定権の移管、教職員独自採用の問題について、積極的な取組を求めました。

◆ 14年9月 定例会（一般質問）

理不尽な犯罪にあつて苦しむ被害者への支援を訴え、専門相談窓口の早期設置が決まりました。深刻化する子どもの貧困の問題を質し、保護者支援や学習支援などの必要性を訴え、スクールソーシャルワーカーの増員などが実現しています。学校問題解決支援について、取組の強化を求め、弁護士・医師等の専門的対応など、前進的な回答を得ました。

※ この他、文教常任委員会、防災・大都市問題の特別委員会に所属し、で議論をリードしました。

◎ 江成直士、教育・福祉・環境・平和に全力投球！

教育・文化

……○ 憲法の理念を生かし、子どもたちの夢と未来を拓く。○ 学校に、行き届いた教育環境を整備し、子どもに、確かな学びと豊かな育ちを実現する。○ 少人数学級の実現、学校と教職員の多忙化解消を図り、きめ細かな教育を推進する。○ いじめ・不登校、子どもの貧困・格差など、教育課題の解決を促進する。○ 誰でも、いつでも学べる生涯学習、地域に根ざす市民文化・スポーツを振興する。

福祉・平和

……○ 高齢者の健康・生きがいを支援し、医療、介護の安心を実現する。○ 待機児童解消、放課後クラブ拡充など、子育て・保育施策を充実する。○ 障害のある人・高齢者など誰にもやさしく、バリアフリー、ジェンダーフリー、多文化尊重の共生社会の実現に取り組む。○ 非正規雇用やブラック企業の問題に取り組み、誰もが安心して働き、生活できるセーフティネットを拡充する。○ 基地返還と市民本位の跡地利用を促進し、地域平和活動を推進する。○ 戦争につながる集団的自衛権行使に反対し平和憲法を守る。

生活・環境

……○ 市民生活の安全、災害に強いまちづくりを推進する。○ 小田急多摩線の延伸、公共交通の拡充、生活関連道路の整備を促進する。○ 中小企業を応援し、地場産業・地域農業の育成、商業振興に取り組む。○ 環境循環型社会と再生可能エネルギーの活用を進め、「脱原発社会」をめざす。○ 「潤水都市 さがみはら」の水と緑と自然環境を守る。

住民自治

……○ 地方分権と市民参加の開かれた市政を推進する。住民自治を促進する自治基本条例、住民投票制度の確立に取り組む。○ 相模原の行財政を市民目線でチェック、市民福祉の充実、健全財政の確保をめざす。○ 開かれた議会と議会活性化を促進する。

市民団体から最高評価

「相模原市議会をよくする会」(赤倉代表)による市議 48 人の評価が発表され、江成議員は、最高評価五つ星の 4 人の中に、選ばれました。

政策提案力、行政チェック力、公約達成努力、議場態度などを総合評価したものとされ、江成議員は 4 年前にも、高評価を得ています。

江成直士のプロフィール

◇昭和 21 年、相模原市中央区水郷田名生まれ。現在、田名四ッ谷に居住。

◇年昭和 43 年から、市立清新小・横山小・麻溝小の教諭、鶴園小・宮上小の教頭、平成 9 年から宮上小・中央小・淵野辺小の校長を務め、平成 18 年定年退職。教育一筋の間に、校長会長、教育会館理事長、教職員組合委員長など教育団体役員を歴任。

◇定年後、橋本幼稚園長を経て、ボランティア団体「子ども教育相談室」代表。

◎平成 19 年、市議会議員選挙に初当選。平成 23 年、二期目当選(中央区)。

◇現在、教育・子育て・福祉・介護ほか、市民の身近な問題に取り組み、政策提案、市の行財政チェックに注力。

◇市水泳協会理事、詩吟・さがみ岳風会会員ほか、地域ボランティアに参加。

＜決意＞ これまでの経験・実績を生かし、「子どもの笑顔」が輝く教育・子育て環境と「市民の安心」が広がり、福祉・文化の行き渡るふるさとづくりのために、「市政に直言」していきます。また、集団的自衛権の行使反対、脱原発社会の実現など、平和・環境の課題に取り組めます。

◎ 江成直士市民相談 へどうぞ！
市民生活のご相談をお聞きします。
電話・fax 042(762)0666